

第10回九州・沖縄地方産業競争力協議会 開催結果

- 2020年度をゴールとする現行「九州・沖縄Earth戦略」（2014年策定）は着実な成果を上げつつある一方、アフターコロナの新常態やSDGs達成に向けた新たな価値への対応をはじめ、先端技術、働き方改革などの動きも進展するなど、大きな転換点を迎えている。
- こうした中、協議会では戦略の第2ステージとなる、2021年度以降の「九州・沖縄Earth戦略Ⅱ」について議論。現行の戦略4分野（グリーン、医療・ヘルスケア・コスメティック、農林水産業・食品、観光）を引き続き柱とした21のプロジェクトを再設定するとともに、アフターコロナ、SDGs、先端技術、働き方改革の視点を踏まえ、官民連携のもと更なる推進を目指していくことで一致、了承を得た。

【開催概要】

- 日 時： 令和3年3月23日（火） 15:30～17:30
- 場 所： ホテル日航福岡 3階「都久志の間」
- 出席者：
 - ・会長 麻生 泰（九州経済連合会会長）
 - ・委員 民間企業等経営者 10名
大分県 広瀬知事、鹿児島県 塩田知事、
福岡県 江口副知事はじめ
九州・沖縄・山口9県及び3政令市
 - ・オブザーバー 地方支分部局10機関の長等
 - ・事務局 大分県、九州経済連合会、九州経済産業局、
沖縄総合事務局
- 議 題：
 - 1.九州・沖縄Earth戦略Ⅱ（案）について
 - 2.各プロジェクトの概要について



開催の様子

九州・沖縄Earth戦略Ⅱ ～新たな課題解決に挑むアジアのゲートウェイ・九州～

背景

- ◇国の成長戦略は道半ば
- ◇米中覇権争いとグローバルサプライチェーンの揺らぎ
- ◇新型コロナウイルス感染症の猛威と激甚化する自然災害

九州・沖縄の現状と課題

- ◇再エネ導入、医療機器産業参入、食の輸出、インバウンドの拡大
- ◇人口減少、カーボンニュートラル等への対応

九州・沖縄の強み

- ものづくり産業の集積
- 豊かな自然
- アジアとの近接性

九州・沖縄の強みを活かす戦略分野の推進

クリーン、医療ヘルスケア、農林水産業・食品、観光

アジアのゲートウェイ化の推進

アジアへの輸出とインバウンドの拡大

新たなテーマへの挑戦

SDGs、先端技術、働き方改革、アフターコロナ

九州・沖縄の強みを活かす戦略分野

1 クリーン分野

- 【水素】再エネ由来水素利活用の技術開発や水素関連産業の参入促進
- 【地熱・温泉熱】地域と共存可能なプロジェクトの創出と海外展開
- 【海洋】専門人材の育成やサプライチェーン形成による地場企業の参入促進
- 【次世代自動車】地元企業の開発力強化と電子・電装系企業の集積
- 【省エネ】有機EL分野の共同研究開発や参入促進
- 【環境・エネルギー】環境リサイクル技術のアジア展開、課題解決の推進

3 農林水産業・食品分野

- 【食の輸出】食品製造事業者への地域商社を介した販路開拓支援
- 【スマート農林水産業】事例共有や体験機会等の提供、データ活用の推進
- 【農山漁村発イノベーション等の推進】農泊や農福連携の推進

2 医療・ヘルスケア・コスメティック分野

- 【医療・福祉機器】自治体間連携による医療機器産業への参入促進
- 【バイオ】核酸医薬やゲノム編集技術活用等による革新的医薬品の開発推進
- 【コスメティック】地産農林水産物を活かした化粧品の研究開発の推進

4 観光分野

- 【観光基盤】宿泊施設のグローバル対応促進と観光産業の人材育成
- 【誘客と観光消費】欧米豪や中国個人客等へのプロモーション強化による誘客地域の多角化
自然や食、歴史、文化を活かした観光サービスや広域旅行商品の創出
統合型リゾート（IR）の誘致活動推進

分野を超えた横断的取組

1 SDGsの普及・実装

- ・産学官金プラットフォーム「九州SDGs経営推進フォーラム」による地域・社会課題解決に向けた企業と自治体との対話促進

2 創業・ベンチャーの創出

- ・「Fukuoka Growth Next」など地域における創業支援体制の強化
- ・九州・山口ベンチャーマーケットなど国内外とのビジネスマッチングの強化

3 先端技術やビッグデータの活用

- ・多様なステークホルダーが共創できる環境づくり
- ・衛星データや民間データも含めたビッグデータの連携・オープンデータ化

4 ダイバーシティ経営の推進

- ・男性の家事・育児の促進等、妊娠・出産・子育てをしやすい環境の整備
- ・テレワークや副業・兼業などの定着を見据えた働き方改革のさらなる推進
- ・オンラインも活用した域内就職やUIターン就職の促進

5 グローバル人材の確保・育成

- ・自治体、企業の連携による留学生の域内企業への就職、起業促進

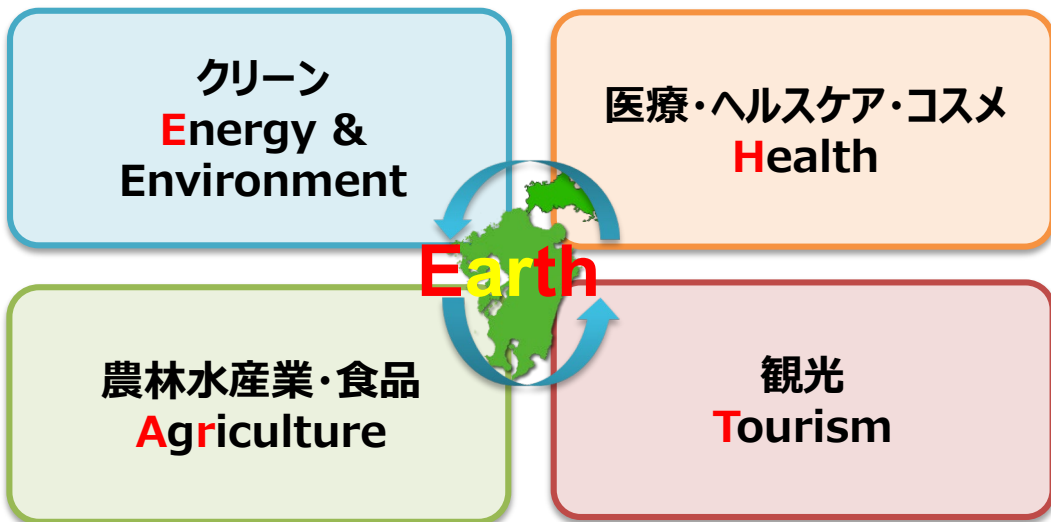
6 その他

- 【宇宙ビジネス】九州宇宙戦略推進会議による宇宙ビジネスへの挑戦
- 【その他】国際化、オープンイノベーション、インフラ強靱化、九州～沖縄連携

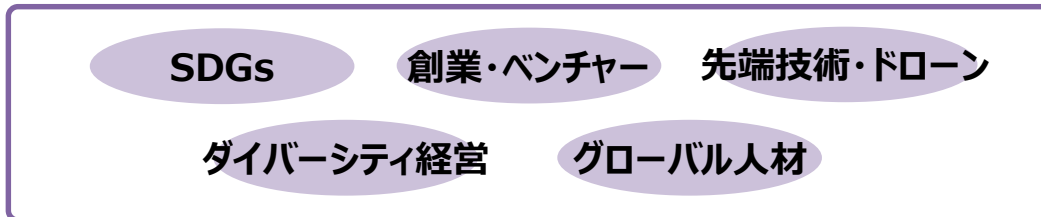
九州・沖縄Earth戦略Ⅱ

- 九州・沖縄の強みを活かす4つの戦略分野における取組を推進し、新たな課題解決に挑むアジアのゲートウェイ・九州として持続的な発展を目指す。

戦略分野



横断的取組



共通する4つの視点



九州・沖縄Earth戦略Ⅱで進める21のプロジェクト

戦略分野	プロジェクト	
クリーン	九州水素エネルギー社会実現プロジェクト	
	地熱・温泉熱エネルギー産業拠点化推進プロジェクト	
	海洋再生可能エネルギー産業の拠点形成プロジェクト	
	北部九州自動車産業アジア先進拠点推進プロジェクト	
	有機光エレクトロニクス産業拠点化プロジェクト	
	九州・アジア環境エネルギー産業推進プロジェクト	
医療・ヘルスケア・コスメティック	ヘルスケア産業振興プロジェクト	
	革新的医薬品等創出拠点プロジェクト	
	バイオ産業振興プロジェクト	
	唐津コスメティック構想推進プロジェクト	
農林水産業・食品	九州の食の輸出推進プロジェクト	
	スマート農業推進プロジェクト	
	スマート水産業推進プロジェクト	
	農山漁村発イノベーション等の推進プロジェクト	
観光	九州観光戦略プロジェクト	
横断的取組	SDGs	九州SDGs経営推進プロジェクト
	創業・ベンチャー	創業・ベンチャー企業創出プロジェクト
	先端技術・ドローン	先端技術活用推進プロジェクト
		ドローン産業振興プロジェクト
	ものづくりにおける組込みソフトウェアへの軽量Ruby活用促進プロジェクト	
グローバル人材	グローバル人材の育成・活用促進プロジェクト	

九州・沖縄Earth戦略Ⅱ プロジェクト概要

①九州水素エネルギー社会実現プロジェクト（幹事：福岡県）

継続

九州の水素分野を牽引する大学・企業の集積、産学官連携組織「福岡水素エネルギー戦略会議」の活動などの強みを活かし、水素関連市場の創出と関連企業の育成・集積を図る。プロジェクトの推進にあたっては、九州地域戦略会議にて策定された「再生可能エネルギー産業化を目指すアクションプラン（九州モデル）」に基づき取組を進めていく。

②地熱・温泉熱エネルギー産業拠点化推進プロジェクト（幹事：大分県）

継続

九州の豊富な地熱資源や企業の技術力を活かして農業や観光といった他産業との連携を進め、地域に利益を還元する九州モデルの構築を目指す。九州地域戦略会議の再エネ産業化推進委員会の下部組織「地熱・温泉熱エネルギー産業化実務者会議」を中心に、産業化に向けた取組を推進する。

③海洋再生可能エネルギー産業の拠点形成プロジェクト（幹事：長崎県）

継続

実証事業の誘致を図るほか、昨年10月に長崎大学内に設置した「長崎海洋アカデミー」において、今後洋上風力発電の概要について幅広く学ぶ総論のコースから専門的なプロジェクトの管理・進行に必要な知識を学ぶコースなど5つのコースを設け人材の育成に努めていく。

④北部九州自動車産業アジア先進拠点推進プロジェクト（幹事：福岡県）

継続

自動車産業の更なる振興のため、次世代自動車の生産、開発拠点化に向けた地元企業の技術力の向上、産業人材の育成、次世代自動車に関連する企業の製品開発機能の誘致等を推進。「北部九州自動車産業アジア先進拠点推進会議」と「九州自動車・二輪車産業振興会議」を中心に、電動化や自動運転技術の進展などの環境変化に対応した取組を進める。

⑤有機光エレクトロニクス産業拠点化プロジェクト（幹事：福岡県）

継続

この分野で世界をリードする大学と各県の支援機関が連携して九州を有機EL関連産業の拠点とすることを目指し、半導体関連企業等による共同開発、有機光エレクトロニクスの特性を活かした用途開発による地場企業の参入促進などに取り組む。

⑥九州・アジア環境エネルギー産業推進プロジェクト（幹事：九州経済産業局）

見直し・継続

先端産業と地域産業のマッチング事業、DXの推進等を通じて2050年カーボンニュートラルへの対応や新ビジネス・イノベーションの創出支援を図る。また、環境技術のアジア展開に加え、サーキュラーエコノミーやSDGsなど新たな政策課題に対応するため、各種市場調査やオンライン商談会を開催し、アジアへの事業展開を支援し、海外市場・投資の取り込みを図る。

九州・沖縄Earth戦略Ⅱ プロジェクト概要

⑦ヘルスケア産業振興プロジェクト（幹事：大分県（福岡県・宮崎県））

継続

東九州メディカルバレー構想などの地域プロジェクトと連携し、医療・福祉関連産業の創出・集積や積極的な海外展開を図ることなどで健康寿命が延伸する社会の実現を目指す。自治体間連携によるマッチング事業、九州ヘルスケア産業推進協議会を活用した国際展示会への共同出展等により、九州域内の連携強化及び医療機器産業への参入促進や取引拡大を推進する。

⑧革新的医薬品等創出拠点プロジェクト（幹事：福岡県）

継続

九州に集積する先端バイオ技術を核とし、国のバイオ戦略に基づくバイオコミュニティ形成を通じて革新的な医薬品などの創出拠点化に取り組む。産学官連携組織である「福岡バイオ産業拠点推進会議」を中心に、「九州地域バイオクラスター推進協議会」とも連携し、核酸医薬など創薬分野の取組強化、国産ゲノム編集技術を活用した革新的化粧品などの創出等に取り組む。

⑨バイオ産業振興プロジェクト（幹事：熊本県）

継続

九州の豊富な農林水産資源や発酵・醸造技術の蓄積を活用し、フランスフードクラスター等国内外の支援機関と連携して機能性食品や健康食品の開発・提供を推進。「九州地域バイオクラスター推進協議会」を中心とした取組を継続するとともに、新たな機能性食品創出等へのオール九州での支援体制確立、九州の地域特性を活かした機能性食品のブランド化支援を行う。

⑩唐津コスメティック構想推進プロジェクト（幹事：佐賀県）

継続

佐賀県及び北部九州にコスメ産業の集積と雇用創出、コスメに関する天然由来原料の供給地化を目的とし、中長期的にはアジア市場のコスメの拠点となることを目指す。企業立地環境や創業環境を整備し、コスメ産業への新規参入を促すとともに、国内外からの企業誘致に取り組む。今年度からは国内の自治体としては唯一のコスメに特化したスタートアップ支援も実施する。

⑪九州の食の輸出推進プロジェクト（幹事：九州経済連合会、九州経済産業局）

新規

農林水産業・食品製造業が収益や雇用を維持拡大し、九州の更なる発展の原動力となるよう安全・安心でおいしい九州の食の輸出を推進する。九経連のMOUなどを活用して、海外市場とのネットワークを構築し、意欲ある生産者によるマーケットインでの商品作りや新しいビジネスパートナーの獲得などを地域商社並びに支援機関が一体となって支援を行う。

⑫スマート農業推進プロジェクト（幹事：宮崎県）

新規

少ない労働力の下でも効率的かつ高品質な農産物生産を可能とする「スマート農業」の導入を目指す。「スマート農業実証プロジェクト協議会」を中心に、九州各県においてスマート農業に取り組む事例収集し、情報共有するとともに、その技術等を活用することで「日本の食糧基地・九州」の安定生産供給体制の構築を図る。

九州・沖縄Earth戦略Ⅱ プロジェクト概要

⑬スマート水産業推進プロジェクト（幹事：鹿児島県） **新規**

漁業生産量の減少、漁業就業者の高齢化・減少、海水温の上昇等による水産資源や漁業・養殖業への影響が懸念される中、ICTやAIといった先端技術を活用して適切な資源管理や養殖管理を推進する。漁海況予測情報や養殖漁場環境情報等の活用により、生産性向上や新規就業者の担い手確保により、持続可能な水産資源利用・漁業経営の実現を目指す。

⑭農山漁村発イノベーション等の推進プロジェクト（幹事：九州農政局） **新規**

農山漁村に人を呼び込むためには所得と雇用機会の確保が不可欠。農山漁村発イノベーションに向け新たなビジネス展開を促進する。人材確保も一体的に行い、交流人口の拡大を進めていく。その中でも特に、農山漁村に滞在して、豊かな自然、郷土料理、夜の静寂なども楽しむ農泊の推進、農業生産工程に障がい者が就労する農福連携を推進する。

⑮九州観光戦略プロジェクト（幹事：福岡県） **継続**

九州観光推進機構が中心となり着実にプロジェクトを実施。これまで第2期の九州観光戦略策定や祭りアイランドなどの広域周遊促進に取り組んできたが、2021年度以降は観光の持続的な発展に向けた基盤強化に取り組む。九州ならではの価値を、Energy、Fertility、Gatewayの3つの言葉に整理。九州のブランドイメージとして発信、浸透を目指す。

⑯九州SDGs経営推進プロジェクト（幹事：九州経済産業局） **新規**

地域企業がSDGsを本業の中で経営戦略に取り込み、ぶれない経営やビジネスの潮流に乗ることを後押しし、地域企業の持続的な企業価値の向上、地域・社会課題の解決による九州地域の持続的な発展とその両方を目指す。産学官金のプラットフォーム「九州SDGs経営推進フォーラム」を中心に、普及啓発、ビジネスマッチング、SDGs経営支援等に取り組む。

⑰創業・ベンチャー企業創出プロジェクト（幹事：福岡県・福岡市） **継続**

世界で活躍できるベンチャー企業の創出を図り、九州から我が国の経済活性化を図ることを目的に実施。福岡県ベンチャービジネス支援協議会など企業、大学等教育機関、行政等が連携し、ビジネスプランのブラッシュアップから販路開拓までの一貫支援、若者の起業を促進するビジネスプランのコンテストの開催、IPOを目指すベンチャー企業向けセミナー開催等に取り組む。

⑱先端技術活用推進プロジェクト（幹事：大分県） **新規**

IoT、AI、ロボットなどの先端技術、ビッグデータ等を活用して、生産性向上、生活の質向上、地域課題の解決、地域の特色を活かした競争力の高い産業の創出を図る。また、自治体データのオープンデータ化の推進、特に九州・山口全体の交通情報のオープンデータ化により交通情報アプリ等の開発につなげ観光客の長期滞在、周遊促進を目指す。

九州・沖縄Earth戦略Ⅱ プロジェクト概要

⑱ドローン産業振興プロジェクト（幹事：大分県） **継続**

九州各県・政令市のドローン実証実験などの取組や民間企業の取組を情報共有し、ドローン産業の振興を目指す。地域課題解決に向け、過疎地や離島への食料品配送、遠隔診療と処方箋医薬品配送などに取り組み「ドローン物流社会実装プロジェクト」、利用者とドローンサービス提供者をつなぐ「ドローンビジネスプラットフォーム事業」等を展開する。

⑳ものづくりにおける組込みソフトウェアへの軽量Ruby活用促進プロジェクト（幹事：福岡県） **継続**

IoT開発に親和性の高い軽量Rubyによる組込みシステムを普及させることで、九州のものづくり基盤技術の高度化を図る。産学官連携組織「福岡県Ruby・コンテンツビジネス振興会議」を中心に、Ruby、軽量Rubyを核にITスタートアップやものづくり企業育成のため、製品開発助成、あるいは販路開拓支援、人材育成などの支援に取り組む。

㉑グローバル人材の育成・活用促進プロジェクト（九州グローバル人材活用促進協議会） **継続**

留学生の就職活動を支援して、九州内の企業に就職することにより、九州内企業のグローバル化を促進する。「九州グローバル人材活用促進協議会」において、人材マッチングサイト「Work in Kyushu」運営及びマッチングイベントの実施、九州内企業に向けた留学生採用のメリットや活用事例などの情報発信、留学生向け九州企業で働く魅力のPR等を行う。

委員からのコメント

- ④北部九州自動車産業アジア先進拠点推進プロジェクトについて、次世代自動車を目の前に控え、今後自動車メーカーをトップとする自動車産業全体の姿が抜本的に変わることが予想される。本プロジェクトの将来を危機感を持って考えないといけない。（広瀬委員）
- ⑭農山漁村発イノベーション等の推進プロジェクトの農福連携は、農業側は人手不足解消、福祉側は障がい者の社会参加につながる意義のある事業。しっかりと引っ張って行って欲しい。（麻生会長）
- ⑮九州観光戦略プロジェクトについて、「九州ならではの価値」であるEFG（Energy・Fertility・Gateway）に、魅力ある世界に通用する貴重な自然である離島「Island」の追加の検討をいただきたい。（塩田委員）
- ⑰創業・ベンチャー企業創出プロジェクトについて、福岡県ベンチャービジネス支援協議会の組織を九州全体にも拡げて欲しい。（広瀬委員）
- 地方の中小企業には実用化に必要な人材が眠っているが、ビジネス化にはつながりを生むネットワークが必要なので、協議会の発展的なスピード感の中でネットワークの環境が作っていかれたらと思う。（姫野委員）